

第十回 がん川柳集

がん川柳五・五

「がん患者の思いを川柳にのせて」

独立行政法人 国立病院機構



大分医療センター

もくじ

刊行にあたって

院長 あいさつ 1

副院長 あいさつ 2

緩和ケアチームリーダー あいさつ 2

優秀作品 3

がん川柳作品 7

「がん患者の思いを川柳にのせて」

がん川柳の啓発活動 20

これまでのがん川柳啓発活動 21

応募規約 24

あなたの一句を 25

おわりに 26

各作品は、原文のまま掲載させて頂いております。

刊行にあたって



院長 梶島 章

ついに、がん川柳も第十回目と節目の回を迎えることとなりました。本年も、全国から百を超えるたくさんの方の句を当院のがん川柳にお寄せいただき、誠にありがとうございました。当院の伝統的な活動となってきたように思われます。じっくり読ませていただきましたが、一句一句が心に沁みました。どの作品も味わい深く素晴らしい、賞の選定にはとても苦慮しました。

さて、私事で恐縮ではございますが、私は今年度より新院長を拝命いたしました。就任にあたりまして、今年度の当院病院目標を定めました。それは、「地域を支え、地域から必要とされる病院であり続ける。」そのために「お互いを理解し、ともに協力して、よりよい明日のための一歩を始める。」です。ここで言う「お互い」とは医療従事者同士だけではなく、患者さんと医療従事者、患者さん同士、患者さんご家族、医療従事者ご家族、地域の方々といった、色々なつながりを意味しています。そして、「よりよい明日」とは、身体的な健康はもちろんなのですが、精神的な安寧、安定した医療環境・家庭環境・地域環境の意味も含みます。がん川柳は、ちゃんと関わっている患者さんだけでなく、ご家族や医療従事者、地域の方々のよりよい明日に対する思い・願い・決意が謳われているのではないかと考えます。それらの方々の気持ちを色々な人に理解してもらうことに少しでもお役に立つと嬉しいです。



副院長
有川 雅也

毎年、沢山のご応募をいただき、誠にありがとうございます。本年も、五七五のリズムにのせて、患者さんやご家族の本音、葛藤、そして希望など、様々な思いが込められた作品が数多く寄せられました。この句集に触れることで、少しでも心が和らぎ、安らかな気持ちになっただければ幸いです。



緩和ケアチームリーダー
岡本 和久

今回も皆様のご協力により「がん川柳集」を発行することが出来ましたことを感謝申し上げます。この取り組みを継続して患者さんやご家族の思いを汲み取る努力を続けながら、まだ表せられない思いがないか引き続き検討し、和らげていくことが出来るように取り組んでいこうと考えております。今後も皆様のさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

優秀作品

優秀作品賞

かつら良し

その明るさに

救われる

東京都 悠々愛々

●作者からのメッセージ

抗がん剤の副作用で脱毛。（髪は女の命なんだから）と言って、かつらを買う破目とあいなりました。（素敵でしょう！！）と手鏡を見て、はしゃぐその笑顔。とにかく沈みがちな周囲の者達を明るくしてくれます。それにしても、ウィッグを、かつらなんて詠むとは？？

優秀作品賞

『覚悟ある』

漢気見せて

友 米寿

静岡県 みさご

●作者からのメッセージ

年上の友人女性は小柄で細身の愛くるしい外見ですが、男性顔負けのパワーの持ち主です。手術に立ち会う息子さんは青白い顔をしていたそうですが、彼女のほうは「先生、やるならとっととやってちょうだい」と、剛毅な啖呵を毎回吐くそうです。

優秀作品賞

待ちわびた

寛解届く

恋に似て

愛知県 則竹 翔

●作者からのメッセージ

若い頃、急性骨髄性白血病を患い、抗がん剤の強い副作用と長く続く骨髄抑制に苦しみました。先の見えない中、「寛解」を待ちわびた日々。知らせが届いた瞬間の安堵と胸の高鳴りをこの句に込めました。

が
ん
川
柳
作
品

居心地が

良いのかガンは

腸に棲む

北海道

住み込みの

ガンと一緒に

医者通い

北海道

ドックにて

早期発見

安堵する

山口県 陸ママ

健診は

あなたを救う

第一歩

岩手県 プリンセス

今ならば

まだ間に合うぞ

がん治療

岩手県 プリンセス

先に逝く

パパの人生

大切に

ヒロ

早期発見

身体の声と

自己管理

ヒロ

がんになり

人生振り向く

心あり

大分県 健康第一

がんだとして

助かることが

増えている

東京都

がん治療

医療の進歩

急加速

東京都

人生の

上がり早めて

くれる癌

八王子市 しげお

宿主の

笑いで癌は

縮こまる

八王子市 しげお

酷暑避け

定期通院

ユックリと

宮城県 蹴杜

with癌で

生きる最後の

最後まで

愛知県 海神 瑠珂

常に持つ

癌に打ち克つ

イメージを

愛知県 海神 瑠珂

特効薬

出来る日今も

待っている

兵庫県

好き sadece

煙草を吸つて

肺ガン死

兵庫県

がん治療

病氣も弱きも

吹き飛ばし

徳島県
のりのり

ガン細胞

誰の許可得て

そこにいる？

愛知県
ナッツとピュア

バラ色の

余生にしよう

あと十年

愛知県
ナッツとピュア

酒たばこ

やらない俺に

がんも避け

北海道
愛植男

がんと知り

終活プラン

練り直し

北海道
愛植男

がんと知り

命、家族が

愛おしい

大阪府
豆助

負けるなど

友や家族に

背を押され

大阪府
豆助

がん告知

生き抜く覚悟
迫られる

大阪府 北斗

がんになり

頑張る人生
取り戻し

大阪府 北斗

受け入れて

今日という日を
抱きしめる

宮崎県 アカエタカ

罹患者

見てたら明日は
我が身かも

静岡県 あおりんご

告知され

外面だけは
腹据わり

香川県 うどん人

がん治療

心身金銭
負担の苦

神奈川県 そんなく

願うのは

がん無き未来
夢医療

神奈川県 そんなく

がんからの

気づき大事な
命かな

福岡県 わここ

玉川の

温泉予約

はたせずに

東京都 悠々愛々

胃を切って

転移も無く

妻と泣く

東京都 レイ

癌罹患

部位切除して

Vスタート

東京都 レイ

オペの数

さらに『5回よ』

言える友

静岡県 みさこ

余命知り

相続仕切る

出来た父

神奈川県 あぎみのかかし

告知され

家族揃いて

終末を

神奈川県 あぎみのかかし

あるがまま

今生きる父

見守って

大阪府 あーちゃん

その時の

その瞬間

今を生き

大阪府 あーちゃん

入会で

元氣いや増す

患者会

徳島県

備蓄マイ

がん寛解な

放出

青森県

ふでりんどう

病名も

分からぬままに

友瘦せる

奈良県

ウラッキー

病友と

残り僅かの

夏祭り

奈良県

ウラッキー

最新の

医療を信じ

がんに唱

静岡県

春爺

気を強く

勇者になつて

Vサイン

静岡県

春爺

癌を機に

家族の絆

結い直す

東京都

心太郎

仕事止め

母に寄り添う

ガン末期

東京都

心太郎

逝く母に

見せたかったな

ウエディング

群馬県 花うさぎ

あきらめない

治療を支え

合う家族

兵庫県

チーム医療

スクラムを組む

がん治療

兵庫県

生きている

妻に人生

支えられ

兵庫県

忘れては

ならない医療

への感謝

兵庫県

おいしいね

家族のねがい

かなった日

茨城県 たーちゃん

わたしもよ

あらそうなのね

わたしもよ

茨城県 たーちゃん

大丈夫

言った君の目

涙目に！

大阪府 GON

おかえりと

言える日々ただ

薬かな！

大阪府 GON

いつの日か

明るい未来

届けたい

佐賀県 クリリン

切り捨てて

他に私の

悪いトコ

東京都 後期高齢青年部

健診で

早期発見

「さようなら」

広島県 みずりん

健診だ

百^{ひゃく}二十^{はたら}歳まで

生きてやる

広島県 みずりん

全摘で

胸に一本

傷の勲章

大分県 じゅげむ

肖像画

描き遺影に

余命日々

埼玉県

髪を切る

妻と笑って

涙する

鳥取県 細谷 焰道

似合うねと

鏡越し見る

君が泣く

鳥取県 細谷 焰道

寛解を

強く願って

いかんかい！

福岡県 のほほん

負けないぞ

気持ちで誓う

がん寛解

福岡県 のほほん

母の声

何より効くと

笑う父

大分県 松尾陽翔

また来るね

そのひとことに

力湧く

大分県 松尾陽翔

がん告知

動揺隠す

家族愛

岐阜県

父として

告知を受ける

覚悟あり

岐阜県

卒寿過ぎ

老母のがんは

御意のまま

千葉県

クスリより

笑顔が効くねと
ガン退治

兵庫県

孫の声

闘い決めた
診察日

兵庫県

がんのと

言って言われる
想定外

東京都
和香

痛いよう

頑張りやめて
星になる(本人の言葉から)

埼玉県

痛いねえ

できることなら
代わりたい

埼玉県

俺のガン

なつた友の
邪気払う

兵庫県

ステージが

上がり家族と
向き合える

兵庫県

子の言葉

生きる勇気が
湧いてきた

栃木県

触診で

異常見つけた
夫婦愛

兵庫県

黒髪が

早く欲しいな
ガン治療

兵庫県

放射線

抗がん剤に
BCG

奈良県
大和の雨蛙

罹患率

分子になって
8年目

奈良県
大和の雨蛙

あの告知

耐え抜き今は
子の親に

愛知県
則竹
翔

病魔との

停戦の日を
待ちわびる

大分県
婚活難民

約束が

違うぞ妻よ
何故なった

神奈川県
やーくん

最後まで

優しい嘘を
母はつく

神奈川県
やーくん

知り尽くし
決めたがんと
歩み方

東京都



～がん患者の思いを川柳にのせて～

がん川柳の啓発活動



がん川柳表彰式



これまでのがん川柳啓発活動

がんチャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ大分



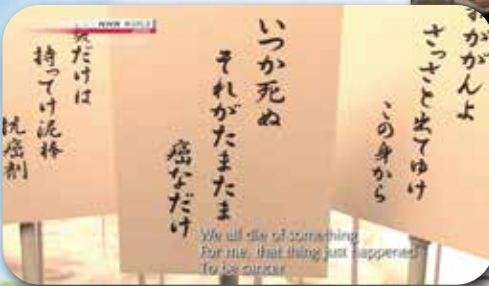
大分医療センター以外の
がんサロンで交流



外来フロア掲示



世界160ヶ国 テレビ放送



一般書店にて



テレビ全国放送



講演



新聞掲載



応募規約

【応募条件】

- ・作品の応募はおひとり様二点までとさせていただきます。
- ・二点を超えた応募の場合は選考対象となる二点を当主催者にて選定させていただきます。
- ・応募作品は応募者または第三者の個人情報が含まれていないものに限ります。

【作品取扱い】

- ・ご応募いただいた作品の著作権は著作者に帰属しますが、当主催者にはその使用权が許諾されます。
- ・当主催者は応募作品の作品集、もしくは書籍化、宣伝広告、ホームページなどにおいて無償で使用することができるとします。
- ・当コンテストに応募された作品の転載はご遠慮願います。

【作品制限】

- ・応募作品が以下の内容に該当すると当主催者が判断した場合、当主催者は事前の通知等なく展示をせず削減することができます。
- ・公序良俗に反している、またはそのおそれがあるもの。
- ・第三者の著作権その他の権利を侵害または、侵害するおそれのあるもの。
- ・第三者を誹謗中傷しているもの、またはそうとらえることができるもの。
- ・第三者のプライバシーの侵害、または侵害のおそれがあるもの。
- ・法令等の違反、またはそのおそれがあるもの。
- ・当コンテストの適正な運用の妨げ、またはそのおそれがあるもの。

あなたの一句を



日付 (/ /)

おわりに

最後まで読んでいただきありがとうございました。

このがん川柳集冊子の発行は、がんになつわるエピソードや日頃の思いを、五・七・五の形式の川柳にのせて感情表出することで心のケアへ繋げたり、がん川柳にのせた思いを地域・社会へ発信することを目的として、二〇一五年三月に第一回目のがん川柳集を発刊しました。今回で十回目となり、これまで院内配布・掲示は勿論のこと、がんチャリティーイベントやがんサロン、大分県内各地のがん相談支援センターでの配布など、様々なところで発信を続けることができています。

がん川柳を通して、多くのがん患者さんやがん患者さんを支えているご家族、知人、支

援者の方々の『がん』への思いを共有でき、皆さんの心の支えになってくれることを願っています。

最後に、本冊子を作成するにあたり、ご支援してくださったがん川柳を応募してくれた方々やがん川柳に触れ共感してくれた方々、そして病院のスタッフ等に厚くお礼申し上げます。

がん相談支援センター

ソーシャルワーカー 村上英恵
緩和ケアチーム看護師 佐藤晶子

第十回

がん川柳集

がん川柳五・七・五

（がん患者の思いを川柳にのせて）

発行日 二〇二六年六月四日

発行・編集 独立行政法人国立病院機構

大分医療センター

大分市横田二丁目十一番四十五号
電話 〇九七―五九三―一一一

